

2020年度 事業報告書

学校法人夙川学院

兵庫県神戸市長田区西山町2丁目3番3号

I. 法人の概要

1. 建学の精神

夙川学院は、1880 年(明治 13 年)、御影弓場の地に故増谷かめによって創設された裁縫塾を母体としています。

当時は女子の教育についての関心が低かったのですが、かめは、女子教育の必要性を痛感し、『婦徳の高い、堅実な家庭婦人の養成』を目指し、裁縫塾を創設しました。以後、本学院は校名を変遷しつつも確実に発展を遂げてきました。なかでも本校教育の一大転換期となったのは、終戦後、御影魚崎の地から、西宮夙川の地に移転した時です。校名を増谷高等女学校から夙川学院中学・高等学校と改称し、学校教育の基礎となる教育精神をキリスト教に求め、キリスト教精神を柱として新たなスタートを切りました。

その建学の精神の主たるところである「徳のある人間を育成する」という精神は現在の組織に脈々と受け継がれています。

教育の目指すところは、共通して「知」「徳」「体」すべてにバランスのとれた全人教育です。またグローバル化した現代社会では、国際感覚を持った人間の育成も重要であることを鑑みて、それぞれの組織がそれぞれの特徴を最大限生かしながら上記の目標達成に邁進してきました。

本学院は教育の目的をより明確にするために、2015 年度に寄附行為の第3条を「イエス・キリストの教えを教育の根本とし、正義と平和を愛する徳の高い人を育てることを目的とする」と変更し、院長および理事現員総数の3分の1以上をキリスト者とするクリスチャン条項を新たに定めました。また、一般社団法人キリスト教学校教育同盟に加盟しました。

2. 沿革

1880(明治 13)年 4月 13 日	増谷かめ、御影町弓場に裁縫塾を開設。
1901(明治 34)年 11 月6日	御影町浜西に増谷裁縫女学校設立認可。
1927(大正4)年 7月 23 日	校名を増谷女学校と改称。
1927(昭和12)年 5月 12 日	校名を増谷高等家政女学校と改称。
1936(昭和 11)年 10 月 26 日	増谷高等女学校(五年生)の設立認可を受け改称。
1945(昭和 20)年 6月5日	戦災により校舎全焼。
1948(昭和 23)年 2月 28 日	西宮市獅子ヶ口に移転し校名を夙川学院高等学校・夙川学院中学校と改称。
1949(昭和 24)年 4月1日	夙川学院の教育の基本理念にキリスト教精神を導入。
1951(和 26)年 3月5日	学校法人認可。
1965(昭和 40)年 4月1日	西宮市鰐岩町に夙川学院短期大学家政科開学。翌年、夙川学院短期大学保育科を増設。
1967(昭和 42)年 4月1日	西宮市神園町に夙川学院短期大学付属幼稚園設置。
1980(昭和 55)年 11 月 21 日	夙川学院創立100周年記念式典举行。
1990(平成2)年 10 月 16 日	夙川学院創立110周年、夙川学院短期大学開学25周年式典举行。
2007(平成 19)年 4月1日	神戸夙川学院大学観光文化学部開学。
2010(平成 22)年 4月 13 日	夙川学院創立 130 周年記念式典举行。
2013(平成 25)年 4月1日	西宮市鰐岩町から神戸市中央区港島に夙川学院短期大学を移転。
2014(平成 26)年 4月 17 日	神戸夙川学院大学募集停止を文部科学省へ報告。

2015(平成27)年 4月1日	神戸夙川学院大学観光文化学部 観光文化学科を神戸山手大学現 代社会学部観光文化学科へ事業 継承。 夙川学院短期大学開学 50 周年。
2016(平成28)年 4月1日	西宮市神園町から神戸市中央区 港島に夙川学院中学校・夙川学 院高等学校を移転。
2019(平成31)年 4月1日	夙川学院中学校・夙川学院高等 学校を須磨学園に設置者変更。 夙川学院短期大学を神戸教育短 期大学に名称変更、神戸市長田 区西山町に移転。 神戸教育短期大学付属八尾ソレ イユ認定こども園を大阪府八尾市 に開園。

3. 役員・評議員

(1) 理事会構成(2020(令和2)年5月1日)

理事(定数5名～10名、現員6名)

理事長 1人

増谷 昇

理 事5人

＜常勤理事＞

樋口 進(院長・宗教主事)

三木 麻子(短期大学長・付属認定こども園長)

＜非常勤理事＞

奥野 耕三

山崎 英穂(日本キリスト教団主恩教会牧師)

北崎 智弘(㈱オリエンタルトラスト代表取締役)

監 事(定数2名、現員2名)

＜非常勤監事＞

金澤 敦夫(湊川短期大学事務局長)

大西 寛文(公認会計士)

(2) 責任限定契約

私立学校法に従い、2020年(令和2)年4月1
日より責任
限定契約を締結した。

① 対象役員の氏名

＜非常勤理事＞

奥野 耕三

山崎 英穂

北崎 智弘

＜非常勤監事＞

金澤 敦夫(湊川短期大学事務局長)

大西 寛文(公認会計士)

② 契約内容の概要

非業務執行理事及び監事はその職務を行うに
当たり善意でかつ重大な過失がないときは、金
240万円と、その在職中に学校法人から職務執行
の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益
の1年間当りの額に相当するとして私立学校法施
行規則第3条の3に定める方法により算出される額
に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を限度
として、損害賠償責任を負うものとする。ただし、
損害額のうち責任限度額を上回る部分について
は、当然に免責するものとする。

(3) 役員賠償責任保険制度への加入

私立学校法に従い、2019(令和元)年11月1日
からAIG役員賠償責任保険に加入した。

■ 団体契約者

株式会社AIG保険

■ 被保険者

記名法人・・・学校法人夙川学院

個人被保険者・・・理事・監事・評議員・教職員

(注) 法人訴訟については理事・監事・評議員

■ 補償内容

法律上の損害賠償金・訴訟費用等

■ 記名法人に関する補償

法人内調査費用・第三者委員会設置・活動
費用等

■ 支払い対象とならない主な場合

法律違反に起因する対象事由等

■ 保険期間中総支払限度額

1億円

(4)評議員会構成(2020(令和2)年5月1日)

評議員(定数11名～21名、現員11名)

樋口 進(院長・宗教主事)
三木 麻子(短期大学長・付属認定こども園長)
井本 英子(短期大学学科長)
増田 摩子(法人事務局総務課長)
占部 眞清(㈱エムズメディア代表取締役)
大前 都貴子(短期大学同窓会副会長)
松伏 純子(短期大学同窓会長)
橘 恵子
奥野 耕三
山崎 英穂(日本キリスト教団主恩教会牧師)
北崎 智弘(㈱オリエンタルトラスト代表取締役)

4. 設置する学校の概要

(1)神戸教育短期大学

(2020(令和2)年5月1日)

- ①住所：兵庫県神戸市長田区西山町2丁目3番3号
- ②入学定員：130名
- ③入学者数：130名
- ④収容定員：260名
- ⑤在籍者数：340名
- ⑥教員数：13名
- ⑦職員数：8名

(2)夙川学院短期大学付属幼稚園

(2020(令和2)年5月1日)

- ①住所：兵庫県西宮市神園町2の2
- ②入園定員：38名
- ③入園者数：18名
- ④収容定員：260名
- ⑤在籍者数：129名
- ⑥教員数：7名
- ⑦職員数：1名

(3)神戸教育短期大学付属八尾ソレイユ

認定こども園(2020(令和2)年5月1日)

- ①住所：大阪府八尾市山本町南2丁目4番5号
- ②収容定員：143名
- ③在籍者数：133名
- ④教員数：24名
- ⑤職員数：2名

II. 事業の概要

1. 各設置校の教育理念

■短期大学

短期大学の教育理念は、「愛と誠実・清新な学識」です。これは、学校法人夙川学院の寄付行為第3条に基づいたもので、夙川学院の前身である増谷裁縫塾創始者の教育方針と戦後導入したキリスト教精神に基づく人格形成を広く反映したのもでもあります。

短期大学の教育方針は、「愛と誠実・清新な学識」の教育理念の下に、広い視野と自己表現力ならびに精神的自立心の涵養につながる教育を行うというものです。

そのために、2015年度に見直した3つのポリシー(アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー)を本学ホームページや大学案内、学生手帳などに掲げ、機会ある毎に学生に伝えていくなど、広く周知するように努めています。また、この教育方針と3つのポリシーを実践するために、入学から卒業(学位授与)までを見通したカリキュラムを編成したカリキュラムマップも再確認し、ディプロマポリシーに照らしたシラバスの作成を行いました。

また、2020年度より学科名を「こども学科」へ変更し、より本学の教育内容が伝わるようにしています。

■付属幼稚園

キリスト教精神に則って、豊かな情操教育を行い心身の発達を助長し幼児期に適した望ましい人間形成の基礎を養えるような教育を実施しております。

■ 付属認定こども園

本学院が重視するキリスト教の精神を基とし、乳幼児を教育・保育し、適切な環境を与え、乳幼児の心身の順調な成長と精神の健全な発達を助長することを教育・保育理念としています。

また、「明るく健やかな子ども、美しい心の子ども、寛容な心を持つ子どもの育成を目指す」ことを教育・保育目的といたしております。

2. 各設置校のキリスト教教育活動

■ 短期大学

2020 年度も昨年度同様に、毎週月曜日と金曜日の 2 日間礼拝を行いました。学生が奏楽を担当することが定着し、学生と教職員が聖書の教えに耳を傾けました。クリスマスの 4 週前からイエス・キリストの降誕を待ち望む期間であるアドベントの初日(11 月 30 日)には、イルミネーション点灯式を行い、学生たちが参加しました。また、12 月 18 日は、クリスマス礼拝を行いました。同時に、クリスマス献金として本学施設実習で協力を得ている社会福祉法人一羊会への寄付金を集める活動も行いました。



■ 付属幼稚園

「新キリスト教保育指針」に基づいて、保育のカリキュラムを作成し、「年主題」「月主題」「聖句」「こどもさんびか」を保育活動に取り入れています。

「年主題」を柱として保育を実践することにより保育者の具体的な考えが深まり、子どもの個々の発育、発達、個性の違いを認めながら工夫を加えることにより、子どもの生活が豊かになるようにしました。

週一回礼拝を受けることで「聞く力」を養うとともに、感謝の気持ちを育み「ありがとう」が言える子どもになりました。また、日常のお祈りを通じて常に神さまを身近に感じることができます。

クリスマス礼拝では年長組は聖誕劇でクリスマスの日の出来ごとを伝える役目を果たすことができました。



■ 付属認定こども園

休園したこども園の園児を受け入れての開園のため宗教教育活動を控えていました。2020 年度からは月に 1 度の誕生礼拝を取り入れ、聖書のお話を聴きました。



また、職員全体に向けてキリスト教についての研修を行いました。

3. 教育力向上及び研究に係る事業

■短期大学

(1) 教育内容及びカリキュラムの内容

◆長期履修生制度

2015年度入学生より、2年間のカリキュラムを3年間で学ぶ長期履修生制度を導入しました。当初の経済的に困窮しているため働きながら学びたい者、強化クラブの活動と勉学を両立させたい者に加え、公務員としての教員採用を目指す者、ゆとりの時間に保育現場でボランティアを希望する者などの「明確な目的意識を持つ志望者」へと徐々に対象を広げ好評です。近年の学生の学び方、ライフスタイルに合致した制度と考えられます。そこで2019年度入学生からは、学生がしっかりと学び希望する資格を取得でき、その上に、それぞれの目標に向かって更に充実した学生生活を過ごせる様に、カリキュラムを改変し、それをオープンキャンパス等でわかりやすく広報するようしてきました。

従来、長期履修生は3限目まで授業がありました。が、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状の取得と卒業に関する授業は、午前中の2コマに開講し、午後の時間をそれぞれがより有効に使えるような科目配置としました。このカリキュラム改変は、長期履修生ばかりでなく、2年制の学生にも学びの幅が広がるものとなりました。

◆「保育英語」の導入

2019年度入学生より、社会のグローバル化に対応できる保育者養成のために、「保育英語」を新規科目として導入しました。日本語以外の多様な言語にも対応できる保育者への第一歩として、「幼保英検」(幼児教育・保育英語検定協会〈幼保英語検定協会〉)の資格取得を盛り込み、学生各自の実力に応じた級の合格を目指します。また、小学校の英語導入につれて高まる保護者の英語教育への関心への対応も可能にします。保育英語を学ぶなかで、英語への苦手意識をなくすだけでなく、英語の歌や手遊びを学び、保育の幅を広げていける保育者を育てていきます。

また、オーストラリア保育研修参加希望者には「保育英語」の履修を指導し、現地実習で実践できるようにしています(2020年度は新型コロナウイルス感染症のため、海外への渡航は中止となりました)。

◆「ICT保育」の導入

2019年度入学生より、専門教育科目の中に「ICT保育Ⅰ」を開講しています。鹿児島県鹿屋市にある「つるみね保育園」を参考に、保育内容の向上と保育者の業務の効率化という2つの観点でのICT活用について学びます。内容は、タブレットを利用し、世界の情報を子どもたちに即時に提示したり、幼児向けアプリを利用する遊びを提供したりすることで、子どもたちの好奇心を高め、思考力、表現力を深める方法を学びます。そのなかで、ICT技術を身近なものとし、保育者にとって必要な業務にもタブレットを活用して、日誌作成にも日常的にコンピュータを活用する力をつけていきます。また、今年度(2020年度)からは「ICT保育Ⅱ」を選択科目として開講しています。「ICT保育Ⅰ」で身につけた技能の具体的な指導方法として更に学びを深めて学生の技能を高めます。

◆「初年次教育」の導入

2020年度は、2019年度にキャリアの為に設定した「キャリアデザイン・ワタシミライ」の時間枠を「初年次教育」と位置付けて、新入生に大学生としての学びや意識を身につけるための講義を予定していました。しかし、新型コロナウイルス感染防止対策のため、学生を一同に集める教室施設が使用できず開講

することができませんでした。

◆在学中に四つの国家資格・免許取得

2019年度からは小学校課程を廃止し、保育者養成に特色を出してきましたが、星槎大学との教育連携により、通信教育課程で小学校教諭・特別支援学校教諭の免許取得が可能になり、本学通学課程と併せて四つの免許・資格を取得することが可能となりました。特別支援学校教諭二種免許は取得することも魅力ですが、保育者にとっても有益な学習内容として印象づけられます。2019年度は、小学校教諭二種免許取得希望13名、特別支援学校教諭二種免許取得希望20名がこの制度を利用して学びました。このうち、今年度卒業生(2020年度卒業の2年制の学生)は、1名が小学校教諭二種免許を、3名が特別支援学校教諭二種免許を卒業時に取得しました。

◆高大連携講座

2016年度より始めた夙川学院高等学校普通科プリスクールコースとの高大連携講座は、2019年、当校が学校法人須磨学園の設置校・夙川高校となり、プリスクールコースが廃止されましたので、今年度2020年度3年生の卒業を以て本学との連携も終了しました。最後のコース生のうち7名が本学に入学しました。

また、本学では、兵庫県立西宮甲山高等学校とも高大連携講座の提携をしており、2020年度も、9月24日、11月9日、11月26日の計3回に講座を開きました。これは同高等学校に教員が出向き、教育総合類型2年生を対象に児童教育に対する理解を深めるものですが、特に最後の回は本学へ生徒を招いて、卒業生との対話や施設見学も行いました。

さらに、2015年度に高大連携の協定書を交わした兵庫大学付属須磨ノ浦高等学校でも高大連携講座を行いました。本学教員が須磨ノ浦高等学校にて授業を行い、入学後に単位が認定される、先取り授業のシステムです。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で、前期は開講できず、後期に集中講義という形で授業を行いました。

高校生の学びを広げる高大連携を拡充する中で、

上記2校以外にも本学に入学が決まった生徒の在籍する高校と協議し了解が取れば高大連携協定を結んでいます。入学が決まってからの高校生の学修意欲を維持するためにも、春休みに本学の講義を受講し、単位を取得すれば入学後に単位認定する制度です。2019年度から協定を締結した兵庫県立東灘高等学校、兵庫県立明石清水高等学校、兵庫県立神戸北高等学校に加え、2020年度は新たに兵庫県立明石南高等学校、兵庫県立加古川南高等学校と協定を締結しています。

(2)FD(教育内容・資質向上)の取組

◆授業アンケート

FD委員会では、教育の改善に取り組むため、PDCAサイクルの観点を重視しています。2019年度より、授業担当者には、授業評価アンケート及び授業評価アンケートに対する授業担当者のコメントに加え、授業改善報告書の作成を課しています。授業を振り返ることにより改善を行い、次期の授業をよりよいものにするよう努めています。この授業評価アンケート後の授業担当者のコメントと授業改善報告書の作成は、年2回(前期・後期)に行っています。アンケート結果、授業担当者のコメント、授業改善報告書については、学内で公表しています。

また、2019年度から授業評価アンケートにかかわる業務にユニバーサルパスポートを活用することになりました。これにより、事務効率をあげることができています。これまでの外部業者によるアンケート集計が、学内でできるようになり、学生が回答後、すぐにアンケート結果を明らかにすることができました。

今年度のアンケート項目は、以下のとおりです。

- | |
|-----------------------------|
| ①あなたは、この授業を意欲的に受けた。 |
| ②あなたは、この授業の事前・事後学習を行った。 |
| ③この授業はあなたにとって理解しやすかった。 |
| ④この授業は講義概要(シラバス)に沿った内容であった。 |
| ⑤この授業の進み方や課題の量は自分にとって |

適切であった。

⑥教員の話し方は聞きやすく、声の大きさも適切であった。

⑦学生に対して柔軟な配慮が見られた。

⑧教員の学生への対応は公平に適切に配慮されていた。

⑨授業は時間通りに行われた。

⑩学生の私語や居眠りなどに対応し、授業にふさわしい雰囲気が保たれていた。

⑪プリントや視聴覚教材などの補助教材が適切に利用された。

⑫この授業を受講して、あなたにとって新しい知識あるいは技術を得ることができた。

⑬総合的に判断して、この授業は満足できるものであった。

⑭この授業に対するコメント

2020 年度のアンケート結果を、以下に示します。

実施期間は 2021 年 1 月 8 日～2 月 5 日でした。学生は、上記①から⑬の設問について、「とても思う、やや思う、あまり思わない、全く思わない」の 4 つの選択肢のうち 1 つを選び回答します。また、⑭は授業に対する自由記述の項目です。

設問⑬「総合的に判断して、この授業は満足できるものであった」という設問の回答結果は、全授業を平均して 57% が「とても思う」を選択しており、学生は概ね全体の授業に対して満足しているということが窺えました。今後の課題としては設問②「あなたは、この授業の事前・事後学習を行った。」の「あまり思わない・全く思わない」の割合が 25% であり、すべての質問項目のうち最もマイナス評価が高い項目でした。他の項目と比較してもこの部分が本学の学生には足りないところです。今後の課題事項として、事前事後学習の内容やその学習への促し方等、学科で検討していきたいと思います。

学生が授業にかかわる「ご意見箱」の今年度の投書は、6 通でした。中には授業内容、授業環境の改善を訴える投書がありました。投書のあった授業を、FD 委員会で見学し、授業担当者に改善を求めました。

また授業中の私語に関する問題は、学科会議ですべての授業担当者に共有できるよう啓発を行ないました。

◆教育実践研究紀要

FD 委員会では、教育に関する実践を掲載した『教育実践研究紀要』を発行しています。2020 年度は、『神戸教育短期大学教育実践研究紀要』第 2 号を 3 月 10 日に刊行しました。第 2 号は、5 本の論文を掲載して授業研究実践の成果を公表しています。

◆授業公開

2016 年度から始めた公開授業を今年度も実施しました。本学教員の授業が対象で、本学教職員および非常勤講師が授業を見学することができます。今年度は、後期の 12 月 10 日から 12 月 23 日までの期間で見学対象授業と見学希望者を募った結果、64 コマの授業を見学対象授業としました。公開授業を始めて 5 年目となり、更に教員相互に有意義な活動とするために、参観者は、授業参観後「公開授業後の振り返りシート」に感想や改善点等の意見を書き込むようにしました。この「公開授業後の振り返りシート」は、授業者の授業改善に役立っています。

◆FD 研修会

本学では、授業改善の取り組み方法についての研修も行なっています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「なぜ今教学マネジメントに取り組むのか」をテーマにした動画視聴による研修を行いました。研修後の講評として、教員から以下のような意見がありました。

「入学させた学生には教職員が一丸となって教育支援を行い、成果を獲得させる責任があるという理解を本研修により追認するに至った」「研修で指摘されていた、人生 100 年時代の社会人基礎力の 3 つの能力「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」についてである。この 3 つの力は保育者として働くうえでも重要である。これらの力を身に付けられるような授業を実施することが求められている」「本学の教育方針に於いて、公立の幼稚園教諭や保育士の合格数の増員を目指すのであるならば、今後の入

学者の選考に当たり合格ラインの底上げを検討し、授業内容のレベルアップを図ると共に、一人ひとりが、将来に向けた保育者としての職業意識を高揚させることが大切であると思う。これは本学の教学マネジメントの確立だけでなく、教職員が一丸となって、実態に合わせた適格な組織づくりが必要であると思う」など、この研修において、どのような組織づくりをすることが教育の質を上げ、入学者獲得に繋げていくかという知見を得ることができました。今後も、研修等で、様々なことを学ぶ場を作っていきたいと思います。

(3) キャリア教育・支援の推進

2020 年度は、学生の就職にかかわるキャリア教育・支援について、次の 6 点について計画してきました。

◆就職フェアへの参加を促す

自分の適性に見合った園を見つけたすには、多くの園を見て検討する必要があります。各地で開催される就職フェアは、保育所や幼稚園などの保育施設が 80 園以上参加しています。これに、学生が赴くことにより、様々な園の保育者から、園の方針や勤務形態を聞くことができます。また、一度に多くの園の情報を得ることにより、自分に見合った園を検討する機会になります。学生には、就職フェアに参加し、10 園以上の園見学をすることを推奨しています。

しかし、今年度はコロナ禍の為、多くの園がズームによる園見学を行っていました。

◆就業満足度の高い公務員への就職を促す

本学では、公務員の待遇面のメリットを伝え、入学直後に 1 年生全員に模擬試験を受験させ、自身の学力の把握や全国レベルでの位置を確認することで、自分自身の課題を見つけ出し、これを克服していく方法を指導しています。

2020 年度の正規公務員採用試験の合格者は、4 名です。そのうち、1 名は長崎市立小学校教諭採用試験に合格しました。これは本学初の小学校教諭現役合格者です。3 名は公立保育士に合格しました。

◆就職活動の基礎的な知識やマナーの指導

今年度は、専任の就職担当員が、保育者養成校と保育現場をつなぐことができるよう、保育職への就職相談や履歴書の添削を行い、学生が就職活動をしやすい環境を整えるように努めました。園長経験のある職員を配置することでより保育現場への就職についての相談や適格なアドバイスを受けることが出来、学生にも好評でした。また、キャリアスタディの授業担当者とも連携し、学生の就職に役立つ内容の授業となるようにしています。

◆ホームカミングデイにおける卒業生との交流

本学では、学生の卒業後のケアとしてホームカミングデイを開催しています。これは、新卒生が就職先に適応できているか確認することができる機会となり、ここで、就職後の悩みの相談にも対応しています。

また、卒業生の就職先の情報から、園の保育方針や雇用条件を把握する機会としています。毎年参加者から、様々な情報を得ることができます。「人間関係がよく働きやすい」「いつでも保育を教えてくれる優しい先輩がいる」という情報や、「休憩時間がない」「年度末に多くの保育士が辞めていった」など就職先として望ましくない環境の園の情報を得ることもできます。こういった情報は、在学生に対する就職支援に役立っています。2020 年度は開催できませんでしたが、新型コロナウイルスの流行の状況を見て行いたいと考えています。

◆保育職の早期離職を防ぐための対策

早期離職者の就業時の状況を聞くと、「他の園を見学しないで、焦ってここに就職した」、「ここは良いところだから就職したらと言われたから」ということを挙げていました。そこで、今年度も、「早く就職を決定する」から、「じっくり考えて就職を決定する」を学生には指導しています。また、他者による意見により就職を決めるのではなく、「自己決定により職業選択をする」大切さを指導してきました。時間をかけて就職先を決定する方法を今後も継続していきたいと思います。

◆就職強要をする実習園の対応について

今年度も、実習園から就職を強要されたという相談が持ち込まれています。学生には、就職の意思が

ないのに、実習園から内定通知をもらった場合は、すぐに就職支援室に相談するよう指導しています。この問題があった場合は、実習園から大学に実習評価表が届いた後に、就職担当者から内定辞退の対応をしています。今後の課題は、実習巡回時に、学生が就職の強要をされることがないように、実習園に啓発していくことです。

(4) 附属施設の事業

◆図書館

2020 年度、図書館は専任の司書1名が欠員となったため、事務職員が運営し、司書資格のある教員が補助対応しました。こども学科の特色を活かし、絵本や児童書・絵本研究書など絵本関連資料のさらなる充実に力を入れるとともに、公立園や小学校を目指す学生のために受験対策問題集の整備や教育要領・保育所指針等の改訂に伴う解説書の充実に努めています。

蔵書数約 62,563 冊のうち、13,758 冊（和書 13,318 冊、洋書 440 冊）が絵本資料で、大型絵本や貴重な図書も数多くあります（2021年3月31日現在）。2020 年には「認定絵本養成講座」が開講され、受講生のために絵本に関する情報提供や資料の紹介も積極的に行いました。

また、2019 年度にオープンした子育て広場「うらら KOBE」に来室される親子にも図書館を利用してもらえるシステムを作り、活用されています。

図書館の業務として図書の整理や管理・相互利用業務のほか、プレ学習として新入生が推薦文を書いた本を展示しています。推薦本のうち、未所蔵本は購入し、学生に人気のある絵本を所蔵に加えるようにして学生の嗜好を選書に反映しています。

また、教員への研究支援として、本学の「研究紀要」と「教育実践研究紀要」を JAIRO Cloud と J-STAGE へ登録しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、「読み聞かせ大会」などのイベントは実施しておりません。感染防止のため、カウンターに透明シート

を、閲覧席にパネルを設置いたしました。返却本は返却台に置いてもらうようにし、ソーシャルディスタンスを心掛けています。

1. カウンターに透明シートを設置



2. 閲覧席にパネルを設置



3. テーマ展示(オープンキャンパスで実施)



4. 館内展示(新着絵本)



◆しゅくたん広場

西宮市からの委託事業として 2009 年度学内に「しゅくたん広場」を開設し、主に 0 歳から 3 歳までの乳幼児の子育て支援を行ってきました。2016 年度より夙川学院短期大学附属幼稚園内の保育室にて開室することとなり、2018 年度には長年の地域子育て支援拠点における子育て支援に対する功績が評価され兵庫県より「平成 30 年度ひょうご子育て応援賞」を贈られました。本大学教員による講習会を開催するなど、大学の専門性を生かした事業を実施したり、異世代交流を深めたりと地域に根ざした子育て支援の場として、貴重な存在となりました。

新型コロナ感染症流行下で、2020 年度は、4 月から緊急事態宣言が解除されるまで閉室しましたが、その後は感染予防対策を徹底しながら、開室しました。感染予防安全対策を第一に考え、毎回時間予約制にして来室を 3 組までとし、8 月までは各種講座やイベントは行わず、9 月以降も外部講師による講座は 3 回のみ開講しました。2020 年度は、総利用者数 1,633 名、開室から 2020 年度までの累計利用者数は 50,862 名、総のべ登録家族数は 2,066 組となりました。

附属幼稚園は、2021 年 4 月 1 日より夙川学院スレイユ認定こども園として園舎を一新して開園すること

になり、それに伴い「しゅくたん広場」は 2021 年 3 月 26 日を以て閉室しました。

◆子育て広場 うららKOBÉ

2019 年 11 月 20 日に本学内 1 階に「子育て広場 うららKOBÉ」が開室しました。学生の応募の中から、名称やキャラクター、ロゴマークを決めてスタートしました。学内に子育て世代の親子やその家族が、気軽にゆったりと過ごすことができる交流の場を提供しています。学内立地という特色を活かして、大学生のアルバイト・ボランティアを日常的に受け入れて学生の学びの場ともなっています。



新型コロナウイルス感染症流行のため、2020 年度は、4 月から緊急事態宣言解除後 6 月 4 日まで閉室しましたが、感染予防対策を徹底しながら、11 月には無事 1 周年を迎えることができました。感染予防安全対策を第一に考え、各種講座やイベントは計画せず、日常の流れを大切に開室しています。2020 年度利用者総数はのべ 595 名、登録家族数は 14 組となりました。

市内区域内の利用者の方が 98% を占め、一日の平均利用者数も当初 3～4 名でしたが、少しずつ増加して、3 月是一日平均 10 名の利用者数になりました。学生のアルバイトの登録者数は 13 名、のべ 322.7 時間の勤務となりました。学生ボランティアは 2 名でした。週 3 日の開室ですが、利用者親子と学生のふれ

あい場となり、学内に和やかな雰囲気ができています。



(5) 研究活動支援

◆文部科学省の競争的資金(科学研究費補助金)への応募・獲得

2020年度は、「基盤研究(C)」、「若手研究」、「研究成果公開促進費」に各1件の応募があり、若手研究「戦後国語科教育の展開過程に関する研究ー石森延男と光村図書の関係を中心に」(2021年度～2025年度)と研究成果公開促進費「石森延男研究序説」(2021年度)が採択されました。研究活動スタート支援の「戦後国語科教育法の成立過程に関する研究: 石森延男の仕事に着目して」(2019年～2020年度)は終了年度を迎え、基盤研究(C)「平安初期歌合における和歌表現の研究ー宇多院をめぐるー」(2020年度～2022年度)がスタートしています。

■付属幼稚園

(1) 各学年の目標

教育目標が幼稚園修了の間に達成できるように年齢ごとの指導に重点をおいて各保育年別の目標をもって保育実践しました。様々な行事においては、当日の結果にとらわれるのではなく、過程を大切に保育することを心がけています。

満三歳児組: 園生活を楽しみながら感情の安定を図り、身の自立を促しました。

年少組: 遊びを通して基本的生活習慣を身につけ、協力してみんなと遊べるようにしました。

年中組: 集団生活の楽しさを体験する中で、きまりを守ろうとする態度や豊かな情操を育みました。

年長組: 創造性を豊かにし自主的、協力的に活動すると共に、体育力の増進を図り何事にも意欲的に取り組む姿勢を育みました。

(2) 園外保育

心身共に健やかな成長ができるよう、毎年園外保育に積極的に取り組み、足腰の鍛錬や自然事象に触れる機会を多く持ちました。また個々の発達や体力に合わせた援助として山道では自分のペースで歩けるよう工夫しました。しかしながら残念なことに2020年度は新型コロナウイルスの影響により園外保育のほとんどは中止となりました。

年少組 中止

年中組 中止

年長組 大阪キッズプラザ



(3) 運動会

毎年、新学年になるとあそびの中で稽古を重ねていき、2学期に入ると各学年、それぞれのカラーに合わせたダンスや、競技を展開していきます。2020年度は4月7日から5月6日に新型コロナウイルス感染症の影響により「緊急事態宣言」が発令されたため運動会自体も全学年で行うことができず各学年に分かれて行い、日頃の取り組みや子ども達の精一杯のがんばりや成長を保護者に見てもらいました。



(4)「英語遊び」の導入

2020 年度も、全学年で「英語遊び」を導入しました。週 1 回、水曜日にネイティブ講師が一日中幼稚園に滞在し、子どもたちと礼拝や誕生会なども一緒に過ごすなど、英語遊びだけでなく保育の中でより密に過ごすことができました。付帯事業として放課後、年中・年長組から参加できる「イングリッシュパーティランド」も引き続き好評で多くの園児が受講しました。早くから英語に親しみ遊びながら学ぶことで自然と英語を身につけていくことや、異文化への興味関心が持てるようにしています。

(5)「預かり保育(にこちゃんルーム)」の実施

保護者のニーズに対応し、2012 年度より行っている預かり保育を2020 年度もコロナ禍ではありましたが出来る範囲で、保育終了後から午後 5 時半まで実施しました。年齢の枠を超え、園庭遊びを中心に楽しく過ごすことをねらいとしています。室内に於いても預かり保育のみで経験できる塗り絵や、ゲーム等の玩具を用意して日常の保育との差別化を図りました。

子どもたちが園生活に慣れた頃から利用が増え、保護者から「安心して預けられる」、子どもたちからも「楽しかった、もっと遊びたい」と言ってもらえました。

(6)付帯事業の実施

保護者・子どものニーズに応えると共に、付属幼稚園の特色をアピールするため、2012 年度より付帯事業として各種講座を実施しました。毎月開催の一般講座として新型コロナウイルスの影響で中止した「子どもアトリエ」を除く「イングリッシュパーティランド」「楽

しいバレエ」などバラエティに富んだ内容で、それぞれ参加した子どもたちは、大変楽しんで活動することができました。



■付属認定こども園

(1)教育及び保育のねらい

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が養われる極めて重要な時期であることから、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて、子ども自らが主体的な活動ができるような教育・保育を行っています。

本園では、音楽あそび・造形あそび・運動あそびの3つを基本にし、教育・保育活動の充実を図り、さらに、ICTを活用した教育・保育により外国語及びプレゼンテーション能力の育成や、食育を推進する保育に力を入れ、保護者とともに地域の方がたとの関わりを重視して、さまざまな子どもたちと共に育ち合うインクルーシブ教育・保育をめざします。

(2)ICTを活用した教育・保育

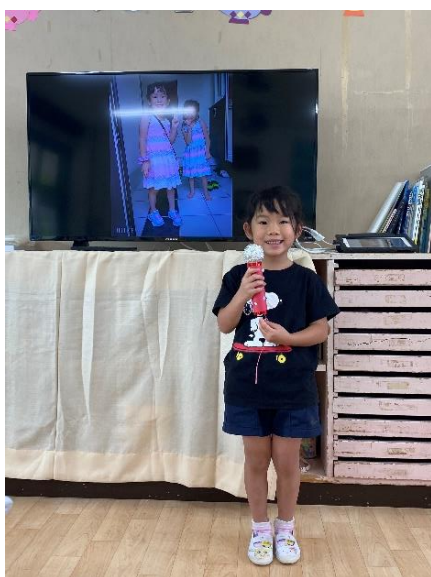
2020 年度は、「ハロータイム」のオンライン英会話は 5 歳児のみにしました。世界24か国のバイリンガル講師による、園児のレベルに合わせたレッスンです。またイギリス人講師が来園し、体を動かしての英会話レッスンも 3 歳児から 5 歳児まで取り入れました。英語に興味を持つとともに自ら表現しようとする気持の育成にも効果が出てきました。

5 歳児においては、複数の国の講師とのレッスンをすることで、色々な英語の発音が聞けることと、週 2

回英語に触れることにより、英語を聞き取る力はついできました。



運動会、発表会では練習風景を撮影し、その映像を観て子ども達と一緒に意見交換をし、演技を創り上げていきました。また昨年に引き続き毎週1枚写真を送信してもらい、その写真を観てプレゼンテーション能力育成に活用しました。5歳児クラスで司会進行役の保育者がいなくても子ども達だけで進めていけるまでになりました。



(3) 音楽、造形、運動あそびを基本とした保育

0・1・2歳児は個々のペースにあわせ、遊びを通して色々なことをやってみる、色々な物に触れてみる、感じてみることを目標に、園庭遊び、散歩等、体験を重視した保育をしました。



(4) 食育

元気な心と体をつくるために、食べることの楽しさを実感する、豊かな食の体験を積み重ね、望ましい食習慣を身につけるための食育を行っています。

① プランターで野菜作り

プランターでプチトマトの苗を植え、また「みどりのカーテン」キャンペーンで育てたゴーヤも収穫し給食メニューに入れ食べました。ゴーヤの味にビックリする子どももいて、苦味の初体験でした。



② 給食調理の下ごしらえの参加

味噌汁の具、大根を切ったり玉ねぎの皮をむいた

り五感を通して食材と触れる機会を持ちました。



③ 芋ほり

園庭の畑に、芋の苗を植える、芋を掘る、食べるという経験をさせます。今年度はコロナ感染防止のため、クッキングは中止とし、調理室でおやつのスィートポテトにして食べました。



(5) 地域との関わりを重視した保育

3 月には、大阪府民共済のにつこりキッズキャラバンが来園し、生活習慣の紙芝居を観たり、運動遊びをしたりしました。子どもたちはとても楽しんでいました。



4. 学生の支援に係る事業

■短期大学

在学期間2年間の学生は、限られた修業年限の中で資格及び免許取得を目指すため、授業が過密です。在学期間3年間の長期履修生も重点支援クラブの吹奏楽部は部活動で練習に励んでいます。その他の学生の多くは経済的な課題を抱え、アルバイトをしています。そのため、課外活動を自主的に行なうことは難しい環境になっています。

この状況下にあって、授業等で身につけた知識や技能を地域貢献や大学の魅力アップに繋がる目的をもつ活動及び団体に対して、課外・自主活動奨学金制度(半期ごと)を設け、支援しています。

昨年度は「地域活性化プロジェクト～エネルギー～」が課外・自主活動奨学金助成対象団体となり、地域の子どもたちと触れ合うことで、学生自ら課題を見つけ有意義な保育経験を積むことをテーマとして地域交流活動をしていましたが、今年度は新型コロナ

感染症蔓延防止の観点から全て自粛せざるを得ない状況となりました。

学生の自治組織である学友会についても、今年度は球技大会(年2回)や秋の夙凜祭(シュクリンサイ)(大学祭)などの行事はすべて行うことができませんでした。

今後はこのような社会情勢の中で可能なことを模索し、学生の意見を反映し、学生生活を豊かに充実して送れるように、学友会活動の活性化をはかりたく思っています。

5. 多様な学生のニーズへの対応

■短期大学

◆経済的な困窮度の高い学生について

経済的な困窮度の高い学生を対象として、支給奨学金を用意しています。これには、本学支給奨学金(学業継続支援(上限 25 万円)と本学後援会奨学金(上限 20 万円)があります。2020 年度は本学支給奨学金(学業継続支援)が 1 名(25 万円)に、本学後援会奨学金が9名(2 名 20 万円・7 名 10 万円)に支給されました。

また、2020 年度は新型コロナウイルス感染症による学生の経済的困窮を支援する公的な制度も実施され、一人暮らしの学生やアルバイト先が休業するなどで経済的打撃を受けた学生が支援を受けました。2020 年度は従来行ってきた授業料の分納制度や延納制度の利用者が増加しながらも、学修の継続が行われました。

また、後援会・学友会は入会金・年会費を全学生から徴収しないことで、短期大学同窓会(こしき岩会)も卒業学年時に徴収する同窓会費を免除して、経済的負担の軽減に配慮しました。

◆成績優秀者について

成績優秀者については本学支給奨学金(成績優秀者)(10 万円)があります。2020 年度は 1 名(10 万円)に支給されました。

◆付属園に就職する学生について

本学の付属園に内定が決定した学生には本学付属園就職支援金(上限 20 万円)が用意されています。

2020 年度は付属園に就職が決定した学生 1 名(20 万円)に支給が決定しました。

◆離職者等再就職職業訓練事業による学生について

2018 年度より離職者等再就職訓練事業(長期高度人材育成コース)の企画提案が採択されました。2018 年度は、定員 5 名のところ 6 名の応募があり、入試を行った結果、4 月より 4 名の訓練事業学生を受け入れて新たな取り組みをスタートさせました。

2019 年度は、2018 年度に入学した 4 名の訓練事業学生が卒業をしていきました。就職結果としては、4 名中 3 名が保育者として、就職することができました。本事業での受け入れが 2 年目となる 2019 年度には、訓練事業学生の定員枠が 10 名となりました。入試の結果、6 名の学生の受け入れをしています。

2020 年度も 10 名の委託訓練生を受け入れることができました。また、2019 年度入学生 6 名は全員資格を取得し就職しました。なかでも 1 名は小学校教諭二種免許状を取得し、公立小学校に就職しています。

◆社会人入学生について

1999 年度入学試験から「社会人特別入学試験」を導入し、社会人の受け入れを行っています。2019 年度の社会人入学生は 1 名でした。社会人で入学してくる学生の多くが、離職者等再就職職業訓練事業を活用しての入学となっています。

社会人特別入学試験での入学者の支援として「社会人特別奨学金制度(支給額各 30 万円)」があります。ただ、2019 年度の申し込みはありませんでした。2020 年度も社会人の入学希望者は離職者等再就職職業訓練事業で受験し、2 名が総合型選抜で入学したため、「社会人特別入学試験」の利用者はゼロ名でした。

6. クラブ活動の記録

■短期大学

重点支援クラブの女子空手道部は夙川高校と合同練習を行っていましたが、本年度は新型コロナ感染症拡大防止のため中止となり、本年度に全部員が

卒業したため本年度をもって女子空手道部の活動を
終えることとなりました。

同じく、重点支援クラブの吹奏楽部の 2020 年度の
活動結果は次のとおりです。

◆吹奏楽部

4 月 手洗い動画作成

8 月 演奏録音・録画・編集

10 月 前期の練習曲を録音・録画

11 月 学歌編曲

12 月 クリスマス礼拝での演奏

1 月 30 日 第 4 回定期演奏会

1 月 17 日 無観客アンサンブルコンテスト

2 月 定期演奏会音源チェック

映像編集プラスエキスポ参加

7. その他の主要事業

■短期大学

地域との共生については、学友会活動の一環とし
て大学祭(夙凛祭)と地域ボランティアへの参加に取
り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症が流行
した今年度は活動を自粛せざるを得ませんでした。

◆オーストラリア海外保育実習

2017 年度より始めたオーストラリア保育実習ツア
ーは、2019 年度の、学生 4 名、付属幼稚園教諭 1
名、付属認定こども園主任 1 名、引率教員 2 名の参加
による実施後、新型コロナウイルス感染症の地球規模
の流行のため、2020 年度以降の実施の目途が立っ
ていません。

■付属認定こども園

今年度はコロナの事もあり、月 1 回とは開催できな
かったのですが、にじっこ親子教室を行いました。地
域の子育て親子が参加し、製作や運動遊びをし、ま
た看護師・主幹保育教諭による育児相談も行いました。